

## 超力戦隊オーレンジャー (1995～1996)

メディア TV

ジャンル 特撮 ヒーロー

製作国 日本

色彩 Color

1995/03/03 ~ 1996/02/23

TV放映 金曜日

17:30～17:55

テレビ朝日

## 【解説】

1999年、突如宇宙から来襲したマシン帝国バラノイアの前に、人類はなすすべもなく蹂躪されようとしていた。バラノイアに対抗すべく、国際空軍(UA)が組織した特別部隊に選抜された4人のUA士官は、間一髪の所を真赤なスーツに身を包んだ超人戦士に助けられる。単身バーロー兵をなぎ倒す彼こそは特別部隊の隊長、オーレッドだった。そして4人の戦士もまた超古代文明の遺跡の放つ光を浴び、神秘の力“超力”を身につける。ここに超力戦隊オーレンジャーが誕生した。彼らは超力の発見者である三浦参謀長の指揮の下、皇帝バッカスフンドに戦いを挑むのであった。

激闘の末、6億年の眠りから覚めた超古代文明の戦士キングレンジャー・リキとそのパートナー・ドリンの協力を得て、ついにバッカスフンドの打倒に成功するオーレンジャー。しかし、新たな敵ボンバー・ザ・グレートが皇帝の座に就き、バラノイアとの戦いはさらに激しさを増していくのであった……。

全世界に対する大規模侵略、職業軍人により構成された戦隊、超力により身体構造そのものが強化された戦士など、非常にハードな設定からスタートした本作品ではあったが、シリーズを通してその世界観を維持することはできなかった。特に、伝説の鍵を持つ者の願いを叶える謎の魔人ガンマジンの登場により物語は方向性を失い、オーレンジャーの新ロボットの登場はあまりの数の多さに必然性が生まれず、カイザーブルドントとマルチーフによるバラノイアの再興もよくある幹部交代劇程度の印象に留まってしまった。豪華声優陣や一部キャストの熱演が光っていただけに、シリーズ構成が破綻を来していたことが残念でならない。なお、丸尾桃役の珠緒(現さとう珠緒)のその後の活躍は周知の通りである。

## 【クレジット】

監督

東條昭平  
辻野正人  
小笠原猛  
佛田洋  
小林義明  
長石多可男  
田崎竜太

アクション監督

山岡淳二

(ジャパン・アクション・クラブ)

プロデューサー

梶淳  
吉川進  
鈴木武幸  
高寺成紀

(テレビ朝日)

(東映)

原作

八手三郎

脚本

杉村升

	井上敏樹	
	上原正三	
	曾田博久	
	高久進	
キャラクターデザイン	阿部統	
	森木靖泰	
	マイケル原腸	
撮影	いのくままさお	
特撮監督	佛田洋	
視覚効果	映画工房	
美術	山下宏	
造型	前沢範	
	レインボー造型企画	
編集	成島一城	
音楽	横山菁児	
アクション	藤田健次郎	
	横山一敏	
	竹内康博	
	中川清人	
	武智健二	
	村上利恵	
	中川素州	
	橋本恵子	
	大西修	
	森美昭	(ジャパン・アクション・クラブ)
特技・操演	鈴木昶	(株)特撮研究所
	尾上克郎	(株)特撮研究所
特技・撮影	高橋政千	(株)特撮研究所
特技・美術	木植健次	(株)特撮研究所
アクション	吉尾亜希子	
ナレーター	田中信夫	
出演	宮内洋	三浦尚之(参謀長)
	穴戸勝	星野吾郎/オーレッド
	正岡邦夫	四日市昌平/オーグリーン
	合田雅吏	三田裕司/オーブルー
	麻生あゆみ	二条樹里/オーイエロー
	珠緒	丸尾桃/オーピンク
	山口将司	リキ/キングレンジャー
	和田理沙	ドリン
	赤星昇一郎	辺名小太郎
声の出演	関智一	皇子ブルドント/カイザーブルドントの声
	小桜エツ子	パクの声
	神谷明	ガンマジンの声
	大平透	皇帝バッカスフンドの声

松島みのり	皇妃ヒステリアの声
山田美穂	マルチャーフの声
肝付兼太	アチャの声
安達忍	コチャの声
桧山修之	ボンバー・ザ・グレートの声
平井誠一	U A 基地アナウンス